



# かけはし

連合長崎大東・壱岐・対馬  
地域協議会  
大村市西三城町9-1 勤労者センター内  
TEL0957-48-6045  
発行責任者：川本良美  
2023年 7月20日 第28号

## 2023 平和行動 沖縄～広島～長崎～根室

被爆78年 語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で、核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう

今年も「連合平和ナガサキ集会」をはじめとした各種平和行動が取り組まれます。「核兵器禁止条約」発効後、3年目の平和行動となります。今年はコロナ禍前の集会規模で開催されます。

連合2023 平和ナガサキ集会 8月8日(火)15:30～17:30  
場所 長崎県立総合体育館 開催規模 3,000人

県外からの参加者は約1000名、県内の構成組織及び各地協からの参加2,000名体制となります。

連合大東・壱岐・対馬地協からの参加は大東地区50名、壱岐ブロック2名、対馬ブロック2名の54名での参加を予定しています。動員要請に基づき、各構成組織より参加をお願いします。

連合は、「安心して暮らし、働き、労働運動に携わることのできる社会」の実現に向け、1989年の結成以来、平和運動に積極的に取り組み、毎年6月～9月に行う「平和4行動」をはじめ、労働組合やさまざまな団体・機関と連携・協力し合い、平和運動に取り組んでいます。昨年はコロナ禍での開催の判断を求められましたが、全国の仲間の思いを現地に結集させる意味は大きく、コロナ禍にあっても可能な限り現地参加を追求する必要があるとの方針のもと、例年の半分程度の規模で開催されました。今年はコロナ禍前の規模に戻し大規模で開催されます。



(昨年の集会写真)

### 被爆78年 連合2023 平和ナガサキ集会次第(案)

開会挨拶・黙祷・主催者代表あいさつ(連合)・来賓挨拶(長崎県知事、長崎市長)・海外来賓挨拶・共催、後援団体紹介・被爆者体験証言・講演・若者からメッセージ・平和アピール・ピースフラッグリレー・フィナーレ「For the peace of world」・閉会



翌8月9日(水)は「長崎県原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」後、連合長崎青年・女性委員会を中心にピースガイドを担当し、14時～16時30分「ピースウォーク」を実施し、19時～20時「万灯流し」が実施されます。今年の万灯作成は、電気ビル大ホールで構成組織約70名の組合員と家族で550個作成されます。

#### 平和4行動について

「平和行動 in 沖縄」 地協副議長、次川久也さん(対馬ブロック議長)に参加いただきました。6月23日(金)～25日(日) (参加感想文を裏面に掲載しています。)

「平和行動 in 広島」 壱岐ブロック(壱岐市職員組合) 澤田員儀さんに参加していただきます。8月4日(金)～6日(日)

「平和行動 in 根室」 佐世保地協・諫早島原地協からの参加となり今回は大東・壱岐・対馬地協からの参加はありません。

## 2023 平和行動 i n 沖縄報告

連合長崎 大東壱岐対馬地協  
次川 久也

6月23日から25日の二泊三日の沖縄平和行動に参加したのですが、自身初沖縄ということ  
で少しテンション高めだったと思います。もうすぐ沖縄に到着する機内の中からみる沖縄の景色  
に違和感を覚えて、「えらい沖縄本島を横切る航路で、機長サービスで景色楽しんでもらえたらと  
いうことなのかな。」なんて沖縄の海を楽しんだが、その違和感の理由は到着して、すぐ参加した  
平和オキナワ集会で判明した。というのも沖縄は日本の国土の0.6%に対して在日米軍の約7  
0%を担っていて、その範囲には戦後の名残もいまだに残っていて、制空権・管制権も含まれ、  
沖縄空港上空は在日米軍が管理しており、沖縄空港の管制塔に退役した在日米軍の方が常駐し  
て、上空を民間機は飛べないため、迂回してただけで、最初から沖縄と在日米軍の関わりの深  
さを肌で感じた。

集会初日、6月23日は「慰霊の日」はうちなー（沖縄の人）にとって特別な日であり、78年  
前、沖縄で3ヵ月にわたり国内最大の地上戦が続いた。約20万人が犠牲者に、うち10万人は  
一般の犠牲者であり、当時の沖縄の4人に1人が犠牲者という戦争がもたらした凄惨な現実でし  
た。私達はここに哀悼の意を掲げ、二度とあつてはならないこと、そして平和と不戦の誓いを願  
った。その夜、地元の方と話す機会があったのですが、慰霊式典の話になり、「今年の平和祈念公  
園の平和の礎に刻まれる戦没刻銘者365名ですよ。」とさらっと教えてくれた。沖縄では若い人  
もしっかり平和に興味を持って過ごしているのだと思いました。

二日目はピースフィールドワークに参加し、連合沖縄のピースガイドさんとともに戦跡コース  
（嘉数高台（普天間基地）→旧海軍司令部壕→平和祈念公園／資料館→ひめゆりの塔／資料館→魂  
魄之塔）を巡った。戦跡だけに当時の生々しい弾痕跡が残っていたり、ガイドさんによる当時の  
状況の説明や資料館等見学した。今では考えられない惨劇と人間の尊厳など一切無視された悲惨  
なものだった。改めて二度と繰り返してはならないと思ったし、ピースフィールドワーク中、家  
族連れが各地で目立ち、自分も家族に平和の大切さを伝えていきたいと思った。それに体験者の  
高齢化などにより語り部さんの減少が問題にもなっている。戦争を知らない私達は語り継ぐ戦争  
の実相と運動の継続で若い世代へと伝えていかなければいけない。

